

十和田市事務事業評価シート

整理No	10
計画No	148

【担当課による検証】

ポイント		検証(選択)	評価	点数	合計	検証の理由				
妥当性	① 市民ニーズ等から見る妥当性 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか	A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている	A	2	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">存在意義の見直しの余地</td> <td style="text-align: right;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新渡戸友好都市締結は都市間交流であり、妥当性がある。</td> </tr> </table>	存在意義の見直しの余地	0 / 4	新渡戸友好都市締結は都市間交流であり、妥当性がある。	
	存在意義の見直しの余地	0 / 4								
新渡戸友好都市締結は都市間交流であり、妥当性がある。										
② 実施主体である妥当性 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか)	A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない	A	2							
有効性	③ 活動指標から見る有効性 活動指標の実績は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	B	1	3	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">成果向上の余地</td> <td style="text-align: right;">3 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">交流事業がマンネリ化の傾向にあり、団体交流の拡充を図っていかねばならない。</td> </tr> </table>	成果向上の余地	3 / 6	交流事業がマンネリ化の傾向にあり、団体交流の拡充を図っていかねばならない。	
	成果向上の余地	3 / 6								
	交流事業がマンネリ化の傾向にあり、団体交流の拡充を図っていかねばならない。									
④ 成果指標から見る有効性 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	B	1							
⑤ 事務事業の見直しの余地 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	B	1							
効率性	⑥ 事業費の削減の余地 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2	5	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">コスト削減の余地</td> <td style="text-align: right;">1 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">現在、事務局が市であるが、民間に移すことにより、民活による一層の推進を検討する余地がある。</td> </tr> </table>	コスト削減の余地	1 / 6	現在、事務局が市であるが、民間に移すことにより、民活による一層の推進を検討する余地がある。	
	コスト削減の余地	1 / 6								
	現在、事務局が市であるが、民間に移すことにより、民活による一層の推進を検討する余地がある。									
⑦ 他の事務事業との統合・連携 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2							
⑧ 民間委託等 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	B	1							
公平性	⑨ 受益の偏り 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか	A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている	A	2	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">受益者負担適正化の余地</td> <td style="text-align: right;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">交流活動には広く一般市民の参加も呼びかけており、受益の偏りはない。</td> </tr> </table>	受益者負担適正化の余地	0 / 4	交流活動には広く一般市民の参加も呼びかけており、受益の偏りはない。	
	受益者負担適正化の余地	0 / 4								
交流活動には広く一般市民の参加も呼びかけており、受益の偏りはない。										
⑩ 受益者負担の見直しの余地 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2							
現在の適性					16 / 20	改善の余地	4 / 20			

【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **16** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **4** 点です。

【担当課長による評価】

当該事業の今後の方向性(選択) ⇒ **有効性を改善して継続**

方向性の理由 友好都市間の相互理解と交流をより一層深めるため、既存交流事業の内容を見直しつつ、交流人口の拡大を図っていく。
今後の具体的な取組方策と狙う効果 交流事業の内容を見直し、情報発信の強化による交流事業への理解の促進を図るとともに、委員会の運営の民間移譲について検討を進める。